

# 花まつりのお知らせ

花まつりとは、正式には「灌仏会（かんぶつえ）」といい、お釈迦様の誕生を祝う行事です。

今から約2500年以上前にお釈迦様が誕生したと言われておりますが、その由来を記したお経には、帝釈天が香水でお釈迦様を洗浴し、九つの龍も天から清浄な水を注いで洗浴し産湯としたとあります。

お釈迦様は摩耶夫人の右脇から生まれると、七歩すすんで右手を挙げて天を指し、左手で地を指し、「天上天下唯我独尊（てんじょうてんげゆいがどくそん）」と唱えられたといわれておりますが、誕生仏と呼ぶ仏像は、この姿をあらわしたものです。

日本では7世紀頃中国から伝わり、推古天皇の時代、606年に行われたのが初めてと伝えられています。昔は五種の香水（五色水）をお釈迦様の誕生仏にかけていたとされていますが、江戸時代後期より甘茶をかけるようになったと伝えられております。

この故事に因み、お釈迦様の誕生日である4月8日にお釈迦様の誕生仏に甘茶をかけてお祝いする行事が「花まつり」です。

当山では昨年よりお釈迦様の誕生をお祝いし、花御堂（はなみどう：お釈迦様の母上である摩耶夫人が釈迦を降誕したと伝えられるルンビニ苑をかたどったものでお釈迦様の誕生仏をお祀りするお堂）をお祀りしています。

**4月6日から8日までの期間  
本堂正面にお飾りいたします。**

是非この機会にご家族揃ってお釈迦様の誕生仏に甘茶をおかけになり、家族の幸せとお子様の健やかな成長を祈りご参拝下さるようご案内申し上げます。

お釈迦様の正しい教えを信じ幸福が与えられるよう共にお祝いしましょう。

